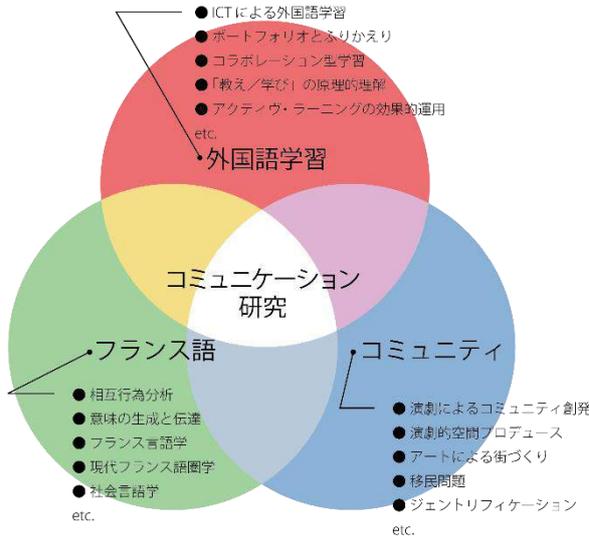


| | | |
|---|----------|-----------------------------|
|  | シーズ名 | コミュニケーション、コラボレーション、コミュニティ創発 |
| | 氏名・所属・役職 | 福島 祥行・大学院文学研究科・教授 |

Communication,
Collaboration,
Communauté



<概要>

わたしの研究は、おおきく分けると、①コミュニケーション研究、②外国語学習にかんする諸研究、③ひとびとの交流の場の生成、④現代フランス語圏研究、⑤言語学のいつつになります。

①・⑤はひとびとの交流場面(相互行為=コミュニケーション)を動画に撮り、そこにあらわれる音声、動作、視線などを、0.1秒単位で詳細に分析することにより、ひとびとのコミュニケーションの詳細をあきらかにするものです(マイクロ分析)。そのけっか、ひとびとは、ひとりひとりがかってに発話しているのではなく、全員のコラボレーションにより、ひとつの発話をみんなでつくりあげていることがわかりました。

②は、情報機器やネットワークをもちいた ITC (Information and Communication Technology 情報通信技術)による外国語教育のほか、ラーニング・ポートフォリオやグループ・ワークによるアクティヴ・ラーニングの研究を、やはり相互行為・コミュニケーションの観点から研究「学び」とはそもそもいかなるものなのかを研究しました。そのけっか、ひとびとは、社会的なコミュニケーションの場で学んでいることがわかりました。また、欧州評議会の言語学習規範である「複言語・複文化主義」の立場から、言語学習のありかたについて提言しています。

③は、「コミュニケーション研究」すなわち「ひとびとはどのようにして通じあえるのか」ということを解き明かす研究から派生したものです。具体的には、ひとびとがグループで活動するさいのさまざまな問題(協働、共感、共通理解、リーダーシップ、モチベーション)を、いかに解決するかについて研究しています。また、地域のひとびととともに演劇をつくりあげるなかで、あらたな人間関係=コミュニティがたちあがってくるさまを研究しています。このことは、アートやイヴェントによる街づくりにも応用されています。

④は、世界各地にちらばるフランス語圏の社会について、複言語・複文化主義、社会構築主義の立場から研究をおこなっています。とりわけ、さまざまなひとびとの交流(コミュニケーション)によって生じる移民問題やジェントリフィケーションに関心をもっています。

<アピールポイント> <利用・用途・応用分野>

①・③コミュニケーションは個人ががんばっておこなうものではなく、コミュニケーションの相手や環境などの相互行為(インタラクション)であるという視点から、より効果的な広報戦略や、コミュニティのたちあげと継続、人事の研修、司会・リーダー研修、コミュニケーション・ワークショップなどに応用ができます。

②言語学習について、学びの原理からとらえることで、これまでたんなるテクニックしか論じてこなかった外国語学習を、自律的・持続的なものとすることができます。また、ラーニング・ポートフォリオなど、他分野の学習にも応用可能なアイテムの開発が可能です。

④現代フランス語圏についての知見と、コミュニケーションに起因する社会問題への考察から、コミュニティや街づくりについての提言や監修がおこなえます。

<関連するURL>

<http://chat-noir.com/>

| | |
|-------|--|
| キーワード | コミュニケーション、相互行為分析、アクティヴ・ラーニング、協働(コラボレーション)、外国語学習、ICT、ポートフォリオ、コミュニティ、演劇、街づくり、つたえることとつたわること |
|-------|--|



シーズ名

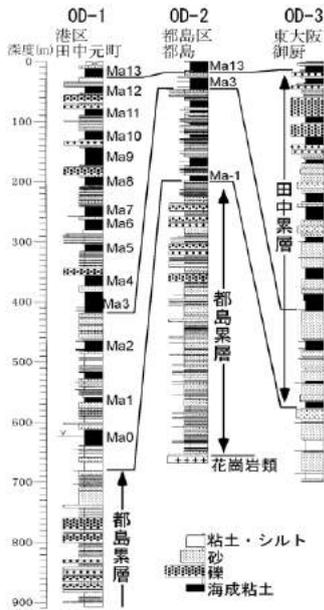
大阪平野 3次元地下構造データ

氏名・所属・役職

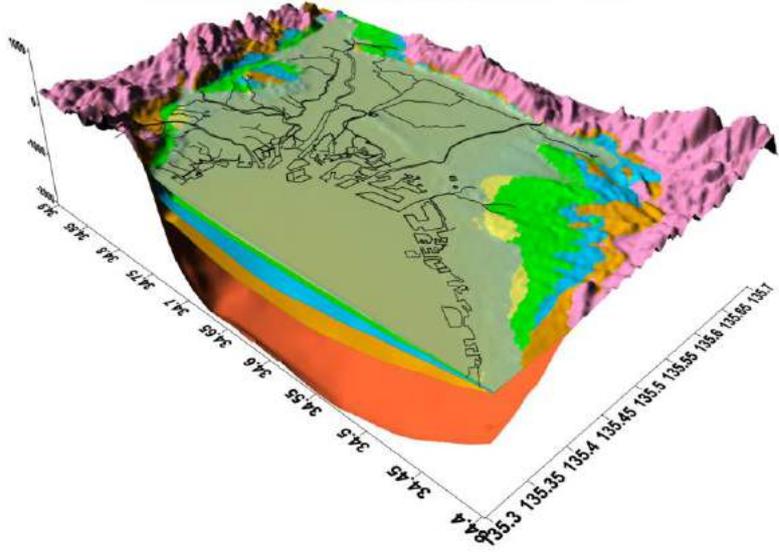
三田村 宗樹・理学研究科・教授, 都市防災教育研究センター・副所長

<概要>

大阪平野の地下を構成する厚さ数 100~1500m に及ぶ地層(第四紀層)に挟まれるいくつかの連続性の良い地層について地質図・ボーリング資料から分布状況を把握した。集約した資料は、各地層の下面標高分布の 250M メッシュの DEM データとしてファイル化している。



大阪平野とその周辺の第四紀堆積層の3Dモデル



DEM データとしてファイル化されている層準は以下のとおり

第四紀層の基底面(基盤岩上面)、Ma-1 層下面(第四紀層を 2 分する境界となる層準、Ma は海成粘土層の略)、Ma3 層下面、Ma6 層下面、Ma9 層下面、Ma10 層下面、第二天満層下面(Ma12/Ma11 層間の砂礫層)、第二洪積砂礫層下面、DG2 層)、Ma12 層下面、天満層下面(第一洪積砂礫層、DG1 層)、沖積層下面、Ma13 層下面、沖積層上部砂層下面、地表面の 13 層準

三田村宗樹 (2007) 大阪平野地下の帯水層構造モデルの再検討. 地下水涵養研究委員会研究活動報告, 地下水地盤環境に関する研究協議会, 1-6.

三田村宗樹 (2007) 大阪平野帯水層構造と深井戸データベースからみた水理特性. 地下水地盤環境に関するシンポジウム 2007 発表論文集-流域圏の水循環再生と地下水利用-, 109-114.

<アピールポイント>

大阪平野とその周辺丘陵地に至る地層分布は、これまで丘陵地や台地での詳細な地質調査に基づいて、地質図としてまとめられており、これに加えて、平野地下では深層ボーリング(層序ボーリング)や反射法地震探査の断面図が公開されていて、これらをもとに地層の分布状況をまとめたものである。大阪平野地下の汎用性のある地下の 3 次元的各种解析に活用することが可能である。

<利用・用途・応用分野>

・大阪平野地下の地盤特性の解析(地震応答解析、地下水流動解析など)の空間情報として活用可能

<関連する知的財産権>

なし

<関連するURL>

なし

<他分野に求めるニーズ>

地盤に関わる 3 次元空間情報処理

キーワード

大阪平野、第四紀層、地層、地下地質構造、3次元地質データ、DEM



シーズ名

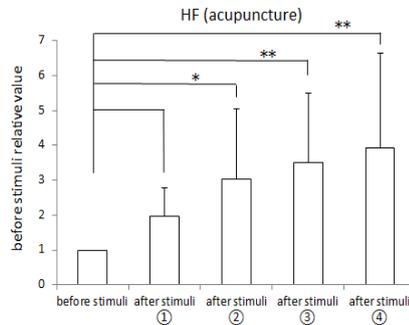
- ① 種々刺激に対する生体応答に関する研究
- ② 視覚障がい者アーチェリー機器の開発

氏名・所属・役職

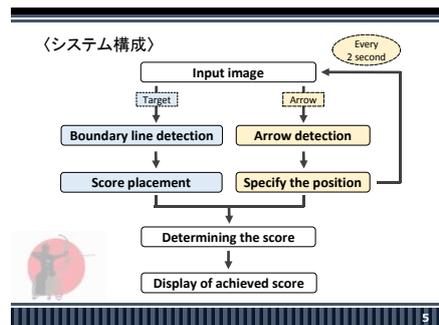
渡辺一志・都市健康・スポーツ研究センター・教授

<概要>

① 呼吸における呼吸性洞性不整脈に着目し、呼気時に同期した種々皮膚刺激(振動、鍼、鍼管、刷毛)による副交感神経亢進作用を解明しています。本シーズを応用したウェアラブル機器の開発をめざします。



② 視覚障がい者の実施が極めて困難とされる「アーチェリー」の実現をめざします。視覚情報を聴覚情報に変換する照準機器の開発およびシューティングされた矢の得点通知システムを開発します。



<アピールポイント>

- ① 体性感覚を介した刺激と生体の持つ応答特性を見出し、新たな生体の調整法を開発する。
- ② 磁気センサモジュールならびに無線モジュールを用いて方位情報を聴覚情報に変換する高精度で軽量である照準器を開発しています。超音波を用いた新たな照準機器にも着手予定であります。刺さった矢の静止画像処理およびマイクロフォンを用いて矢の位置を検出して得点を推定するシステムの開発も行いました。視覚障がい者への導入を進め、動画による得点通知システムの実現が今後の課題です。

<利用・用途・応用分野>

- ① 健康・トレーニング機器、自律神経調節、リハビリテーション
- ② 障害者スポーツ、レクリエーションスポーツ、社会福祉

<関連するURL>

<http://www.sports.osaka-cu.ac.jp/index.htm>

<他分野に求めるニーズ>

皮膚振動刺激装置、刷毛刺激装置、バイタル情報の同期システム
3次元画像解析、得点感知システム、自動通知システム

キーワード

体性感覚、副交感神経賦活、呼吸位相、視覚障がい、アーチェリー、障がい者スポーツ、情報変換